

改めまして、今年の三陸大船渡夏祭りも大勢の観光客の皆さんや地元の方々に希望を与え、笑顔や感動を与える事が出来ますよう、そして成功裏に終えますようお願い、会長の時間とさせていただきます。

日光東照宮は、家康公の死後、遺言に従って二代将軍・秀忠により創建され、20年後の寛永13年(1636)三代将軍 家光公に再建され、多くの大工や狩野探幽、左甚五郎など優れた絵師や、彫刻家が携わっており、絢爛豪華な社殿群となりました。建物に刻まれた彫刻は「人物」「霊獣・動物」「花鳥」「地紋」に分類され、建物や場所に法則があり徳川幕府繁栄を願っているものといわれています。

日光東照宮陽明門の有名な彫刻には神厩にいる猿と、東回廊の蔓股にいる眠り猫ではないでしょうか。神厩舎とは、ご神馬をつなぐ厩（うまや）です。

馬小屋に猿の彫刻があるのは、猿は馬の病気を治し馬の守り神とされていると古くからいわれてきたためです。長押上には猿の彫刻が8面あり、猿を用いて人の一生を物語っています。中でも「見ざる・言わざる・聞かざる」の三猿の彫刻が有名で子供が素直に育って欲しいという願いが込められています。神厩の猿の彫刻は猿の一生を、八枚の彫刻で綴られていて一つの物語になっています。

生まれたばかりの猿が成長し、独り立ちし、親の苦勞が分かり、新たな生を迎える。これらを見ていると、猿の成長に考えさせられたりします。

日光東照宮は、平成11年12月「世界文化遺産」に登録され、現在、本殿・石の間・拝殿、陽明門など8棟が国宝、34棟が重要文化財に指定されています。

世界遺産の人気観光スポットとしてはもちろんのこと、近年では「パワースポット」としても脚光を浴びています。日光東照宮陽明門の高さは、11.1メートルの二層造りで、全面に500体以上の彫刻が施されています。

日光東照宮陽明門は日光のシンボリック的存在です。日光東照宮及び日光社寺文化財保存会は、平成の大修理として彫刻の塗り直しや外観の塗装などを行い、事業費は約10億円に上る見通しということです。

第一期二次事業として陽明門、下神庫など3棟については2013年度着工し、6年後の完成を目指す大がかりな改修となります。2017年3月10日（金）より、約2年間の修理工事を終え、日光東照宮の陽明門が44年振りに竣工致しました。

この度の竣工は昭和48年以来44年ぶりとなります。鮮やかに蘇った陽明門をこのまたとない機会にぜひ見に行かれてはと思います。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- 1 花巻ロータリークラブより クラブ創立50周年記念誌が届いています。
- 2 気仙地区商工団体連絡会より ILC誘致促進集会の案内が届いています。
日 時 6月12日（月）14時30分～16時30分
会 場 大船渡市民文化会館 リアスホール 大ホール

◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆

★ 大西竜介社会福祉小委員長

15日の例会後吉浜荘へタオルの寄贈に伺います。

会員の皆様には12日（月）までに事務局へお届けいただきますようご協力お願いいたします。

★ 紀室綾子青少年奉仕委員長

東高校 IAC 生徒と共に警察署前花壇整備を6月19日月曜日14時～16時で行います。

会員皆様のご協力お願いいたします。

★ 2016～2017 年度地区研修・協議会において表彰されました。

新入会員 3 名以上入会 …… 齊藤俊明会員
傘寿会員 …… 千田喜一郎会員



ガバナーより千田
会員へ記念品贈呈

当クラブは、女性会員 2 名以上純増クラブとして表彰



◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆
次年度会長卓話 : 水野賢一次年度会長

次期会長卓話と言うことで少し私の事を知ってもらいたく自己紹介をさせていただきます。

1954 年 昭和 29 年 1 月 12 日生まれ 今年で 63 歳になります。

生まれも育ちも大船渡市盛町で、大船渡工業高校を卒業し仙台職業訓練校で配管の勉強を 1 年したあとは家業の水道工事店を手伝い現在にいたっています。

手伝いを始めた当時は鉄工所でしたが、だんだんと水道工事の依頼が多くなって現在の水道工業所となりました。

家業は爺さんの代は、水野荷馬車と言いまして、木製馬車や荷車などを製造販売していて、古い人達には馬車やで通じます。私は馬車屋の孫で通じます。

趣味は、高校から始めたラグビー・オートバイ・ゴルフ・他色々一杯ありますが現在まで飽きずに続いているのは、ラグビー・オートバイ・ゴルフですね。

ラグビーは 35 位迄現役でしたが、県大会で骨接し現役引退しまして、現在は協会の副会長として口だけラグーマンをやっています。

バイクは 14 歳～現在まで乗っていますが、若い時はモトクロスレースに出場したりしていましたが、今は休日に乗る程度に楽しんでおります。

ロータリーには 2002 年 7 月 4 日入会させていただき、今年で 15 年目となりますが、未だにロータリーをよく理解しないまま次期会長となりましたので、これを機会に勉強していきたいと考えております。

国際ロータリー2017-22018 年度会長イアン・ライズリー氏は年度テーマを「ロータリー：変化をもたらす」と掲げ、重点項目を

- ① クラブのサポートと強化
- ② 人道的奉仕の重点化と増加
- ③ ロータリー公共イメージと認知度の向上

また「持続可能な奉仕」という目標に、環境保護と温暖化抑止が極めて重要であると述べ、ロータリーアン総会員に匹敵する 120 万本の木を植える事を求めました。

これを受けて R I 2520 地区は地区の円滑な組織運営を目指すため、5 つの方針を掲げております。大船渡西ロータリーとしては以上の事を念頭に置きながら我クラブならではの楽しいロータリー活動をして行こうと考えておりますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。